

私の基本ベースとなる配合エサ

「グレパン」

青のりやパン粉などの軽い素材を中心に浮かせるタイプの配合エサ。サラシやゴロタ場で効果的。

「遠投フカセTR」

「グレパワースペシャル遠投ふかせ」の進化版。遠投性ながら、拡散性がありスロープ状に沈下するモデル。

「グレパワーV9」

拡散性と遠投性に優れ、沈下速度や集魚力などバランスがよく、波止から離島までオールマイティに対応できる。

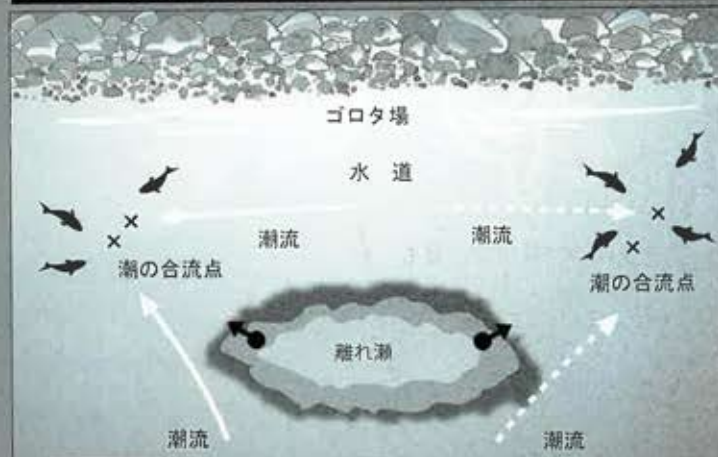
「グレパワーV10」

視認性の高い『白い』の配合エサ。マキエサの帯が確認しやすく、白い濁りがクロにアピールする。

瀬際に立たないこと
ハリスはできるだけ太目で

狙い所①

- 動きが鈍いため、瀬際づたいにしか動かないことが多い。
- 釣りづらいがハリ根際は大型がひそんでいる。



狙い所②

- 地磯とほんの少し離れているだけで、ちゃんとした水道になり、沖からの潮とぶつかる所がポイントになる。また地磯に大小のゴロタ石があれば、最高のポイントになる。

狙い所③

浅場の地磯

- 図の黒い部分が海溝で、周りには沈み岩が敷詰められているような浅瀬の場合、下から上に行く潮の時に黒い海溝部を手前から探る。マキエサは足元とウキに被せる。ただエサ盗りが多い時は手前だけにマキエサをする。

●マキエ

りするのがこの時期でもあります。

私の基本的なマキエサは、沖アミ生(3kg)2角、アミ1/8角を2角に沖アミの沈下速度と同じ「グレパワーV9」ベースとなる常備に携帯する配合エサで、さらに潮の流れや海中での潮の動きを確認するために白い配合エサ「グレパワーV10」。そしてマキエサのまとまりを良くして遠投をしやすくする「遠投フカセTR」を各一袋ずつ携帯します(いずれもマルキューより発売)。通常、それらを2回に分けて撒き込みます。

●ポイント

乗っ込みグロ攻略法の最大のキーポイントは、釣り場選びが第一だと考えてます。

今の時期、私が一番気をつけている事は、ドン深(水深がある所)のポイントに極力避けるようにします。それは、この時期のクロは前述したように、抱卵して浮き上がりにくい事と、

海水温の差による層が出来やすく、2枚潮や3枚潮になったりして、釣りが難しくなる場面も多くなるからです。

クロが産卵に寄って来やすい所は、浅場・沈み石・沈み瀬や近くに大小のゴロタ石がある磯や、磯際・ハリ根際・海溝等も絶対に押さえ所となるポイントです。

潮による狙い所はというと、瀬と瀬との合流点が出来やすい所で、水道の出口付近や小さなワンドから払い出しが潮の本流や支流などと合流する所。サラシと潮目がぶつかる所などが好ポイントになります。

水深のある磯に乗越した場合は、思い切って深い層を釣るか、少しでも浅い所を釣るか、磯際を集中的に攻めるとか、まず一ツの個所的に絞りを絞込みむようにして探っていきます。

●仕掛け

この時期は1〜2kgオーバーの丸々としたクロがターゲットになり、磯際・ハリ根・沈み瀬・浅瀬等を釣るために道糸やハリはひと回り太くして臨み、クロがヒットしたら必ず取り込むを前提にタックルは準備します。一度バラしてしまうと今の時期のクロはなかなか後が続きません。